

10/26 (水) の行事



報道発表資料の配付日時 10月21日(金) 13時30分

発表項目	1日防災学校（稚内市立声問小学校）への参加・協力について														
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者													
		発表場所													
概要	<p>宗谷総合振興局は、10月26日(水)に稚内市立声問小学校で行われる1日防災学校の「災害食づくり」について、講師等として、下記のとおり参加・協力させていただきます。</p> <p>1 開催日時 令和4年 10月26日(水) 11時20分～12時05分【4校時目】</p> <p>2 開催場所 稚内市立声問小学校 2階 家庭科室</p> <p>3 目的 災害時の避難生活を可能な限り健康かつ快適に過ごし、エコノミー症候群等による災害関連死を防ぐためには「TKB」(T=トイレ、K=キッチン、B=ベッド)が重要であると避難所・避難生活学会でも提唱されておりますが、ライフラインが途絶えた状態での避難生活における食事は、乾パン等の非常食、カップ麺やおにぎり等の支援物資が主となってしまい、栄養の偏りや飽きからくる食欲減退など心身に大きな影響を与えます。今回の1日防災学校では、そのような状況下でも簡単にできる日常に近い食事「災害食」を中心に、児童生徒はもとより関係者の皆様に、避難所生活における「TKB」の大切さを学んでいただきます。</p> <p>4 講師等 宗谷総合振興局(地域政策課)</p> <p>5 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>調理方法の説明・実習</td> <td>ライフラインが途絶した状況を想定し、高密度ポリエチレン袋(ハイゼックス袋)を活用した米の炊き方やアルファ化米の調理を体験。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>講話</td> <td>避難生活における「TKB」の大切さや災害食に関することを中心に説明を行う。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>試食</td> <td>ハイゼックス袋で炊いた米とアルファ化米を試食。</td> </tr> </tbody> </table>			No.	項目	内容	1	調理方法の説明・実習	ライフラインが途絶した状況を想定し、高密度ポリエチレン袋(ハイゼックス袋)を活用した米の炊き方やアルファ化米の調理を体験。	2	講話	避難生活における「TKB」の大切さや災害食に関することを中心に説明を行う。	3	試食	ハイゼックス袋で炊いた米とアルファ化米を試食。
No.	項目	内容													
1	調理方法の説明・実習	ライフラインが途絶した状況を想定し、高密度ポリエチレン袋(ハイゼックス袋)を活用した米の炊き方やアルファ化米の調理を体験。													
2	講話	避難生活における「TKB」の大切さや災害食に関することを中心に説明を行う。													
3	試食	ハイゼックス袋で炊いた米とアルファ化米を試食。													
参考															
報道(取材)に当たってのお願い	宗谷総合振興局地域創生部地域政策課(防災係0162-33-2526(内線2191))まで事前申込みをお願いいたします。														
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)													
	同時レク														
担当(連絡先)	宗谷総合振興局 地域創生部地域政策課 主幹 菊池 博幸 TEL 0162-33-2914 (内線2151) 宗谷教育局 教育支援課 課長 千代 隆志 TEL 0162-33-3740 (内線3200)														

「1日防災学校(稚内市立声問小学校)」への 参加・協力について

宗谷総合振興局

来る10月26日に稚内市立声問小学校で行われる「1日防災学校」について、宗谷総合振興局が講師等として参加・協力させていただきます。

1 日時・場所

【日時】2022年10月26日(水)

11時20分～12時05分(4校時)

【場所】稚内市立声問小学校 2階 家庭科室
(稚内市声問5丁目7番21号)

2 参加者・講師等

宗谷総合振興局地域創生部長 黒田 研一 ほか、
地域政策課若手職員(講師)

3 1日防災学校への宗谷総合振興局参加・協力について

(1)目的

災害時の避難生活を可能な限り健康かつ快適に過ごし、エコノミー症候群等による災害関連死を防ぐためには「TKB」(T=トイレ、K=キッチン、B=ベッド)が重要であると、医師や専門家で構成される「避難所・避難生活学会」でも提唱されておりますが、ライフラインが途絶えた状態での避難生活における食事は、乾パン等の非常食、カップ麺やおにぎり等の支援物資が主となってしまい、栄養の偏りや飽きからくる食欲減退などにより心身に大きな影響を与えます。

このことを踏まえ、1日防災学校の体験学習の場を通して、そのような状況下でも簡単にできる日常に近い食事「災害食」を中心に、児童生徒はもとより関係者の皆様に、避難所生活における「TKB」の大切さを学んでいただきます。

(2)具体的内容

①調理方法の説明・実習

ライフラインが途絶した状況を想定し、少量の飲用水と米があれば炊飯ができる高密度ポリエチレン袋(ハイゼックス袋)を活用した米の炊き方や、アルファ化米(防災用非常食)の調理を体験。

②災害食に関する講話

避難生活における「TKB」の大切さや、災害食に関することを中心に講話を行う。

③試食

ハイゼックス袋で炊いた米とアルファ化米を試食。

4 その他

開催場所が小学校であることを勘案し、振興局職員はPCR等検査を予め受検し、陰性であることを確認したのち参加します。